

雪びら



松山東雲学園同窓会報

No.69

発行 松山東雲学園同窓会
〒790-8541 松山市大街道3丁目2-24
Tel & Fax 089-941-4140
E-mail : yukibira@shinonome. ac. jp
郵便振替 01660-1-93707
発行日 2011年8月1日
印刷 セキ株式会社
〒790-8686 松山市湊町7丁目7-1

創立125周年記念号



女学校時代の校舎遠望 1932 (昭和7)



戦前のピアス館・体育館を背に



創立者 初代校長 二宮邦次郎



正門からの坂道 1923 (大正12)

目次	同窓生はいま	クリスマス集いの案内
会長挨拶	トピックス	同窓会事業・決算報告
支部だより	同期生会	同窓会事業案内
同窓会活動報告	2012年度幹事会・総会の案内	名誉会長二宮徹先生逝去
訃報	インフォメーション	
2	4	6
2	4	7
3	5	7
3	5	8
3	6	

会 長 挨 拶

松山東雲学園同窓会
会長 篠崎 英代



このたびの東日本大震災におきまして、被災された方々へ心よりお見舞い申し上げます。

未曾有の大被害となり復興にも時間がかかっています。東北や関東圏内にお住いの同窓生は何千人といらっしゃいますが、お一人お一人にお声がけができず心苦しく思っているところです。同窓会としましても義援金、物資搬送等行いましたが、これからもできることはお手伝いしたいと考えていますので、お気軽にお申し出いただければ幸いです。

昨年11月2日に、同窓会名誉会長の二宮徹先生がお亡くなりになりました。長きにわたり東雲学園また同窓会のために、多大なるご尽力をいただきました。最後まで東雲を愛してやまないお気持ちに敬意を表する次第です。同窓生一同、深く感謝をささげご冥福をお祈りしたいと思います。

5月21日には同窓会の総会が行われました。今年からは、3年ごとの開催が毎年の開催となりました。会場は桑原キャンパスで行いました。時代の変化が急速になっております中、同窓会運営が円滑に運ばれますように、また多くの同窓生にかかわっていただける同窓会であるためにと、昨年の総会で皆様のご同意をいただきこのようになりました。たくさんの方にお集まりをいただき、またアトラクションでは留学生や同窓生の協力も得て、盛会に終えることができましたことを大変感謝申し上げます。

今年は東雲学園創立125周年を迎えます。昨年、役員研修旅行で創立者二宮邦次郎先生所縁の高梁教会へ参りました。そこには、2007年に東京から生誕地高梁市へと二

宮邦次郎先生のお墓が移転されていまして。私たちは東雲関係者として初めてという記念すべき墓参りに臨み、大変感動いたしました。母校東雲学園を思うとき、二宮邦次郎先生の女性教育への熱い思いを忘れるわけにはまいりません。これからもこの思いを同窓生に受け継いでいきたいと考え、学園と同窓会がともになって感謝の碑を建立することが、今総会で決まりました。11月19日(土)には、現地高梁市で記念碑の除幕式とレセプションのバス旅行を企画しておりますのでご参加くださいますようお願いいたします。(P7参照)

さて、私は同窓会長に選任いただき5年目を迎えました。何かと至りませんが、皆様のご助言、ご協力でここまでこられましたことを深く感謝しております。この間東雲学園を取り巻く環境は、内外ともに非常に厳しいものになっています。そのためには同窓会の自立、そして同窓会から学園への協力体制の強化が必要と考えました。同窓会自立に向けては事務作業など、役員の方々の努力などで一定の成果が得られたと思います。今後は私たち同窓生が母校を守るための活動をしなければならぬと強く考えるところです。その一つとしまして、このたびの総会で、年々多く集まっています1,000円寄付を「維持会費」と変更いたしました。これからは、同窓会維持、ひいては母校維持のための資金として多く集めたいと考えています。以前に増して、皆様のご理解ご協力をいただきたいと思いますのでよろしく願いいたします。(P6参照)

現在、学校運営の厳しさはどこも同じです。そのためには、素晴らしい教育を受けられる学校として学園が努力を怠らないことは言うまでもありません。松山東雲学園はキリスト教精神のもとに女性教育が行われてきた125年の伝統ある学園です。これからは誇りある私たちの母校を、私たちの手で守りぬこうではありませんか。

最後に、同窓生皆様のご多幸を心よりお祈りいたしましてごあいさつとさせていただきます。

支 部 だ よ り

東京支部

支部長 田村 治子 (高校13回卒)

東北の桜も満開となりました。

このたびの東日本大震災の被災者の方々に心よりお見舞い申し上げます。

さて、恒例の東京支部同窓会を、今年も6月に予定しておりましたが、「中止」とさせていただきます。会員の中にも被災された方がおられます。友のために痛みを分かち合い、希望に向かってともに祈って行きたいと思っております。

必ず日本は復興できると信じております。

連絡先：080-5382-0824

関西支部

支部長 池内 啓子

(高校23回、短大保育科7回卒)

第26回関西支部会を、篠崎同窓会長様、藤田基牧師様をお迎えして、2010年10月9日(土)神戸酒心館にて開催しました。50歳代から75歳まで幅広い年齢層の方々が参加し



てください、総勢27名のにぎやかな会となりました。

藤田牧師様にお会いしたいという方がたく

さんおられ、牧師様の含蓄に富んだお話に耳を傾けられたり、牧師様から頂いた「聖書のことばのプレゼント」に感銘を受けたりと充実した時間を過ごすことができました。同窓会長様の「学校が大変な時だからこそ、同窓生が学校を支えないといけない」というお話に皆さま同感されておられました。古き良き伝統をもった学校が発展するよう祈った次第です。

今回は2011年10月7日(金)京都で高校9回卒の方々が幹事さんをひきうけてくださり、開催されます。皆様、お誘い合わせのうえ、ご参加くださいませ。お待ちしております。
連絡先：075-864-1798

今治支部

支部長 渡邊 理美子 (高校5回卒)

今治支部会は隔年の開催なので、毎年報告することはありません。

隔年の開催なので(月日があくので)支部会の良い立ち上がりができるように、10名ほどの有志が毎月集まって、心を通わせながら話し合っています。

さて、本年は今治支部会の開催の年になりました。日時—2011年7月31日(日)12時～14時。場所—今治国際ホテルを予定しています。同窓会のこと、東雲学園の最近のことなど、情報がわかる機会です。ご出席ください。

連絡先：0898-22-6255

宇和島支部

支部長 濱田 チヅル (短大保育科18回卒)

このたびの東日本大震災において被災された方々、またそのご家族の方々に、深くお見舞いを申し上げます。

被災地の日も早い復旧復興を心よりお祈り申し上げます。

南予地方の同窓生もどんどん増えております。親睦を深め学校生活の話に花を咲かせたいと思いますので、支部会開催の折には、参加をよろしく願いいたします。

連絡先：0895-24-4777

高知支部

支部長 濱田 里香

(短大生活科学科生活文化専攻5回卒)

高知支部は2010年10月2日(土)に、女子大学・短期大学で開催されましたホームカミングデイへの参加を目的に「DINING さえら」で支部会を終えた後、大学のほうへと移動しご参加くださった支部の方々、先生方と楽しくそして懐かしいひとときを過ごさせていただきました。

今回は松山での開催ということもあり、ご参加くださった方々にとても好評でしたので、また日程が合いましたら支部会プラス大学の行事への参加を考えております。

ぜひ、皆様の参加をお待ちしています。

連絡先：0889-52-4310



沖縄支部

支部長 上間 涼子

(女子大人文学部人間文化学科5回卒)

2010年は9月4日に篠崎同窓会長をお迎えし、東京第一ホテルオキナワグランメールリゾートホテルにて保護者



懇談会と同窓生の集いを合同で開催いたしました。

今回は台風9号が接近中の悪天候の中、学園からは山内さん、石川さんにもご参加いただきまして、在校生、在校生の保護者・同窓生と共にとっても楽しい時間を共有することができました。本当にありがとうございました。これからも沖縄支部を盛り上げていけるよう、みなさまのご協力よろしく願いいたします。

連絡先：098-938-5455

同窓会活動報告

1,000円募金のお礼

一昨年5月から募金を開始いたしました「1口1,000円寄付」は全国各地343名の同窓生から、バザーへの寄付も含め916,660円いただきました。

ここに紙面をお借りして厚くお礼申し上げます。

2011年6月 会長 篠崎英代

2011年度 松山東雲学園同窓会総会開催

今年度総会は、5月21日(土)11時から桑原キャンパス D館において、会員91名が出席して開催されました。礼拝、会長挨拶に続いて事業報告、決算報告、今年度の事業計画、予算等を承認したのち、午後には懇親会をしました。



訃報

「雪びら」68号発行後、ご連絡をいただきましたご永眠の方々です。ご逝去を悼み、つつしんでご冥福をお祈り申し上げます。

教職員 萩野 鍊太郎、二宮 徹(高女31)、千田 保義

同窓生

高女32	増田 文子	高3	森田 弘子 (岡田)
高女33	古田 陸子 (泉)	高5	忽那 周子 (奥村)
高女38	石川 節子 (西村)	高9	木下 弥生 (重川)
高女43	堀内 フサ子 (中矢)	高15・短食1	高市 三枝子 (玉井)
高女45	杉浦 浪子 (金沢)	高18 短家2	野村 以久子 (青野)
高女48	加藤 香 (福島)	高22・短食8	米田 初美
高女48	横本 テイ子 (脇坂)	高29・短食15	渡部 美幸 (広瀬)
高女50	寶藏 敦子 (渡邊)	栄養4	能宗 妙子 (村上)
高女52	阿部 國香 (青木)	短食22	福山 裕子
高女52	松林 佐代子 (岡田)	短生環4	宮田 佳代
高女52	西村 カナ子 (森)	短生環6	村井 千帆子
高2	三原 晴子 (白方)		



ふるさと遠く

曾田 文子 (旧姓：広江)
(高校11回卒)



そろそろ視野の中に人生の最終章を意識する年齢になった。

縁あって越後・新潟に暮らし、いつの間にか40数年の時が流れた。もはや生まれ育った地の倍以上の年月である。

しかし私にとって、ふるさと松山はいつも思い出の中で輝き、人生の伴走者のようにずっと励まし続けてくれた。1年の3分の1が鉛色の空の下、雪に閉じ込められる長い冬は、南国松山では知ることのできない人々の営みがあった。深い雪に耐えた人や自然は、雪解けの春とともに大きな喜びに満ちあふれる。黒い土の中から顔を出す鮮やかな緑がまぶしい。

友人知人のいない地であったが、若かったこともあり、全てが新鮮で楽しく、受けて立つ勢いのスタートだった。

メリハリのある雪国の四季のリズムにも少しずつ慣れ、誰もが経験する人生の山や谷を、この地で出会えた多くの方々に支えられ、ここまでたどり着くことができた。

松山城は私の原風景の中にある。その緑の森に囲まれた東雲学園でのわずか3年間で、私の人生の方向性を示してくれたといってもよい。まだ不安定な年頃の少女たちを、窓から入る木漏れ日の光がやさしく包む。そんな空気が蘇ってくる。

漠然とした将来の夢や希望、そして不安の交錯する日々、油絵の具のにおいの混じった美術教室は、どこか心落ち着ける場所だった。あの頃、デッサンの手を動かしながら皆各々の自分探しをしていたのかもしれない。

祈りの中に過ごした3年間の思い出は、長い年月を経て、ますます美しく輝いて見えるのはなぜだろう。

今日まで歩んできた道を振り返るとき、ささやかではあるがアートに関わり、何かを創造する今の私の原点は、この教室から始まったと言えるかもしれない。

今や新潟の方言の混じる会話で、この地にすっかり根を下ろしたかのようであるが、松山からの電話に瞬時に応える伊予弁にはいつも家人にからかわれた。

松山からもらってきたたくさんの愛情と、お日さまの光を宝物として、ここまで頑張ってきたと感謝している。

残された人生、まだ使いきれないほど、その蓄えはありそうだ。

切り絵から

兵頭 明日美
(短大保育科 30回卒)

東京で切り絵作家活動を始めて5年ほどになります。それまではOLで生活費を稼ぎつつアート系フリーマーケットに参加。小金が貯まるにつれ、切り絵・紙行灯屋の開店を決意し、web shop「うヴェえ」開店。切り絵製作、雑貨制作、雑誌掲載、展示会、デザインなど、切り絵を中心に活動し現在に至ります。

切り絵をはじめたのは、10年ほど前にアルバイトをしていた先の女将さんに「あなたの絵を切り絵にして、キャンドルホルダーにしたらどうだろう？」と提案され、ためしに作ったことからです。切り絵に和紙を貼り、灯りをともした頃にはすっかり切り絵と灯りの美しさに魅了されていました。この女将さんの一言が、切り絵を始めたきっかけです。

切り絵のデザインは、主に子供のころ深く印象に残っていること、懐かしいこと、大切なことの瞬間、女の子、動物、植物、季節……。自分の中の「大事」や「好き」や「懐かしい」を作品のモチーフにしています。それは、保育科で幼児教育の一環として学んだ、保育のこと、音楽、植物、表現すること、感じることなど、いたるところにちりばめられているように思います。保育の道には進みませんでした。保育科で学んださまざまな経験は今でも私の力になっています。

この5年間で、数回展示会を開催しました。不思議なことに、展示会にいらしてくださった方と話をすると、多くの方がそれぞれの思い出の話をしてくださいました。そこで初めて会ったのにもかかわらず、年齢も性別も関係なく、自分が子供だった頃や経験したこと、見てきたことなどをうれしそうに話してくださいます。それはまるで、同じ記憶を共有しているかのような興味深い体験でした。全てを共有した記憶ではなく、ただ、誰もが知っていて懐かしいと思えることが、作品を通して、一瞬記憶に触れたような、かつて共有したような不思議な感覚でした。私はそれがとてもうれしいことのように思えてなりません。

これからも記憶と記憶の交点になるような作品を生みだしていきたいと思います。



(イラスト：兵頭 明日美)

トピックス

*前田直子さん(高校14回卒)は、2011年春の褒章(2011年6月15日付)で25年近く務めている篤志面接委員の功で「藍綬褒章」を受章されました。



*関西在住の佐々木光子さん(旧姓:森本 高校9回卒)が2010年の秋に二科展に入選されました。同窓生が集まって大阪市立美術館へ作品を観せていただきに参りました。(スカーフをしておられる方が佐々木さん)



同期生 集まりました！

松山東雲学園八&九友会（中学8・高校9回生）



秋晴れの好天に恵まれた2010年10月16日、西村拓先生をお招きして、2年ぶりの再会となりました。

東京、鎌倉、神戸からのご参加もいただいて21名、豊かななつかしいひとときを過ごしました。

いひとときを過ごしました。

出会いはエネルギー！ 2年後を楽しみにしています。

(坂東 道子、原田 由美子)

高校11回生

2010年10月21日、22日道後館にて最後の同期会をした。高校卒業50年を記念し、藤間藤美保（井上美鈴）さんの「祝舞」で会は始まった。出席者は44名、今回で最後とあって、初めて参加した人もあり、和気あいあい楽しい会であった。学年全体での会は最後だが、これからは小グループでの集いを折々にしていくことになった。



(伊神 美和子)

高校14回生

1977年8月10日、10名ほどが泰平楽に集まり、毎年8月10日に同期会をしようということで翌年（1978年）から発



足しました。以来毎年8月10日になつかしい顔に会えるひとときを過ごしております。次回34回目は思い出深い道後でお会いしましょう。（金柿 有子 旧姓:稲荷）

高校25回生

2011年4月30日・5月1日道後温泉古湧園で集まりました。

久しぶりに帰省するメンバーに合わせ急遽計画しました。例年は食事会ですが、今回は修学旅行以来の宿泊付です。参加は約3分の1でしたが、当時に戻り賑やかな夜を満喫しました。次回は砂田先生、藤岡先生、今回参加できなかったに皆さんにお会いできるのを楽しみにしています。

(田房 真理子 旧姓:兼久)



高校31回生

2011年4月29日、30年前に埋めたカプセル掘りをするために、長靴、スコップ持参で11名が集まった。当時しっかりと密封したつものつぼの中にしまいこんでいた高校の思い出と30年後の自分あての手紙は水浸しだった。一枚一枚、丁寧に取り出し乾かすと文字が浮かび上がり読めるようになった。今迄の30年、これからの30年、それぞれの道であるが、ここ東雲での思い出は消えることなく永久に続いていくことと思う。

(岸 藤香)



2012年度 同窓会幹事会のご案内

会則の改定に伴い、来年からは隔年ごと幹事会が開催されることになり、次幹事会は下記の通りです。

日時：2012年5月19日(土) 10:00～15:00

会場：松山東雲中学・高等学校 100周年記念館 4F 研修室

2012年度 同窓会総会のご案内

来年の総会は下記の通りです。

日時：2012年6月16日(土) 11:00～13:30

会場：いよてつ会館

会費：1,500円（昼食代、当日お受けします）

第1部 総会

議題 2011年度事業報告・決算報告

監査報告

2012年度事業計画・予算案など

第2部 親睦会・アトラクション

申込：氏名、旧姓、郵便番号、住所、Tel、卒業校、卒業回を記載した申込書を2012年5月31日(木)までに、提出、郵送、FAX (089-941-4140)、またはメール (yukibira@shinonome.ac.jp)で お申込みください。

総会当日のキャンセルは会費をいただきます。

*朝 7:30～7:50の間、校内およびロープウェイ街を中高のバレーボール部員十数人が清掃しています。仕事に向かうサラリーマンや学生たち、地域の方々と元気よく挨拶を交わしながら、道行く人たちも、一日の始まりが気持ちよく迎えられる風景です。



同窓会メール会員募集!!

同窓会ではメール会員を募り、「雪びら」のメール配信をしたいと思っています。またメール会員には同窓会のイベント、動きなどを随時配信していく予定です。

メール会員ご希望の方は、必要事項《氏名(旧姓)、学校名、卒業年、卒業回、同窓生番号(封筒の氏名の下にある7桁の数字)、住所、電話、自分のメールアドレス(パソコンメールに限りません)》を記入の上、同窓会へお申し込みください。(yukibira@shinonome.ac.jp)

「維持会費」の送金先

同窓会「維持会費」送金は、同封の振込用紙をご利用ください。

松山東雲学園同窓会
郵便振替 01660-1-93707

松山東雲学園創立 125 周年記念ロゴマーク



卒業生を含む学園関係者に記念ロゴマークを募集したところ 35 点の応募があり、審査の結果、最優秀賞に短大生活科学科生活デザイン専攻 2 年の影浦みのりさんの作品が選ばれました。このロゴマークは、この 1 年間印刷物や配付物に使用されます。(受賞者の年次は受賞時のものです)

松山東雲学園創立 125 周年記念行事

「記念講演会」

日時：2011年9月16日(金) 10:00～11:30
場所：松山東雲女子大学・松山東雲短期大学D館3-1教室
講演者：青山学院名誉学長 深町 正信氏
演題：キリスト教主義をになう私たち
— 平和の器、愛の器 —

「久保陽子ヴァイオリンコンサート」

日時：2011年10月1日(土) 14:00～
場所：松山東雲女子大学・松山東雲短期大学チャペル
〔お問い合わせ先〕125周年記念コンサート事務局
渡部 089-931-6211 (内線 607)

「第4回ホームカミングデイ」

日時：2011年11月5日(土) 13:30～15:00
場所：松山東雲女子大学・松山東雲短期大学B館2-1教室
同期会等グループでの会を計画される方は、お問い合わせください。
〔お問い合わせ先〕ホームカミングデイ事務局
松野 089-931-6211 (内線 676)

「第2回しのめ芸術祭」作品募集

昨年度に引き続き、芸術を愛好するしのめ人による作品展を桑原キャンパスにて企画しています。たくさんのご応募をお待ちしています。
受付・搬入期間：9月20日(火)～9月22日(木) 10:00～17:00
応募作品：絵画、立体、書道、写真、工芸など
展示期間：10月1日(土)～10月16日(日)
〔お問い合わせ先〕しのめ芸術祭実行委員会
増本 089-931-6211 (内線 256)

12月10日はクリスマスの集いにいらっしやいませんか!!

今年のクリスマス祝会は伊予鉄会館で行います。友人達との交わりのひとときとなりますよう、皆様お誘い合わせのうえ、一人でも多くの方々のご参加を心からお待ちしております。

クリスマス祝会

日時：2011年12月10日(土) 11:00～13:00
会場：いよてつ会館5F
松山市大街道3丁目1-1 Tel 089-948-3456
会費：1,500円(当日お受けします)
申込：氏名、旧姓、郵便番号、住所、Tel、卒業校、卒業回を記載した申込書を11月15日(火)までに、提出、郵送、FAX(089-941-4140)またはメール(yukibira@shinonome.ac.jp)でお申込みください。祝会当日のキャンセルは会費をいただきます。



祝! 敬老の日

本年、お元気で敬老の日を迎えられる80歳以上の会員は793名の皆さんです。おめでとうございます。

これからもお健やかで神様のお恵みが豊かにありますように。



松山東雲中学・高等学校2011年度第2回オープンスクール

日時：2011年8月20日(土) 9:30～12:20 (受付開始 9:00)
場所：松山東雲中学・高等学校
対象：小学5・6年生、中学2・3年生、保護者

内容：体験授業

小学生:社会・・・ペーパークラフトで歴史を学ぼう
中学生:理科・・・液体窒素でアイスキャンディをつくろう
部活動体験

〔お問い合わせ先〕松山東雲中学・高等学校 事務室
Tel 089-941-4136



同窓会名誉会長・二宮徹先生逝く



1955年から1986年まで、31年にわたって同窓会会長を務められ、その後は名誉会長として同窓会を支えてこられた二宮徹先生が2010年11月2日逝去されました。心からご冥福をお祈りいたします。

二宮先生をしのぶ

安倍 圭子（中学校 6回卒）

松山東雲学園、そして私自身にとって、二宮徹先生は大きな影響力を持つ偉大な存在で、言葉では表現できないほどの人間国宝的な方でいらっしゃいました。

私は中学2年の夏、ジレット校長の時代に山梨英和女学院から東雲に転校してまいりました。その当時、外国の音楽家の日本公演は難しく、まして松山公演などは夢のような時代に、音楽史に残る世界的な演奏家たちが次々と東雲の体育館で演奏してくださいました（ケンプやギレリス等々）。私たち中学生は息をのんで感動に震えました。その時の魂の叫びが現在の私の演奏家としての原点になっています。

このような貴重な体験をさせていただけた陰には二宮先生のお力が大きかったのではないのでしょうか。松山の音楽界の活性化、啓蒙化、広範囲にわたる文化活動への推進力を先生は担っていらっしゃいました。先生の毒舌はユーモアに富み、お人柄はみんなに愛され、広い人脈が東雲の教育を、カリスマ的統率力は同窓会の力になっていたと感じます。こんなに偉い先生に対し、過去に一度だけ私はとんでもないことをしてしまいました。なぜかある日突然、先生だけに自分の人生をかけた音楽を聴いていただきたい！と思っ

たのです。ところが松山では、私の知らないうちに正式な演奏会の準備が先生の手配の元で着々と進められていました。運悪く左耳に激痛を生じ、ドクターからは聴覚を失いたくないなら絶対安静をと宣言された直後に演奏会の招待状が届いたので、もうびっくり仰天、生れて初めての本番キャンセルでした。私の軽率な思いつきが先生のご厚意を踏みにじりご散財をおかけし、動いてくださった方へのご無礼な結果は私の生涯の悔みです。こんな私ですのに、先生は黙って全てを包み込んでくださいました。

私たち人間は精神的な遺産を受け継いで生きています。物質は朽ちても心の遺産はそれを受けとめた人々の心の中で光り、エネルギーを増していきます。松山の音楽界の礎を築き、東雲学園のために全ての愛を注ぎ、私たちとともに生きてくださった先生です。正しいことをするときの決断力、文化を支える私欲のない先生のエネルギーを思うとき、各自に与えられている各自の能力を次世代のために使いなさい、と天国からのメッセージを送ってくださっているように感じる毎日です。

最後に、いろいろな面で支え、応援してくださった二宮先生に、そして同窓会の皆様によって生かされている自分を感じ、心からの感謝を申し上げます。

（桐朋学園大学名誉教授・マリンバ演奏家）



安倍圭子プロフィール

マリンバ演奏家。演奏活動は50ヶ国に及ぶ。世界90校以上の音楽大学で音楽指導を行い、50ヶ所以上の音楽祭に出演。今までに委嘱初演した作品は自作品を含め270曲を超え、世界中のマリンバ奏者に演奏されている。音楽史上に残るアーティストとして世界各地で絶賛され、確固たる評価と地位を得ている。

心を一つに、日本を再生しましょう

東北の震災地支援のため、多くの方々より支援物資の提供いただきました。私たちは、衣服・くつ・食料品・日用品を仕分けし、米・毛布などととも5月末までに5回、約350箱を被災地へ届けました。今後ともご協力お願い申し上げます。

今般の東日本大震災・福島原子力発電所の事故は、現代文明に対する、地球からの警告だと思えます。日本人の英知でこの試練に耐え、地球と共生する文明を目指し、互いに「この無限の宇宙であなたに会えてよかった」と言える社会を築きましょう。



新しい風をおこす市民の会
夢工房 まつやまの水
E-mail : orient@cup.ocn.ne.jp

きもの更扇

2011年3月11日の東日本大震災に遭われた同窓生の皆様、またそのご家族の皆様には、心からお見舞いを申し上げます。

編集後記

今回は、松山東雲学園創立125周年記念の特別紙面でお届けします。

編集にあたり、古い写真をひも解く貴重な時間をいただき、歴史を感じることができました。歴史ある学園の発展を、小さいながらも私たち一人ひとりが支えていけたらと思います。

原稿をお寄せいただいた皆様には、心より感謝申し上げます。

毎年、「雪びら」が手元に届くのを楽しみにしていただけるよう、紙面作りに努力してまいりますので、皆様のご協力をお願いいたします。

広告募集「雪びら」に広告を掲載希望の方は同窓会 (Tel 089-941-4140) にご連絡ください。